

問1 千島列島方面から南下する、水温が低い海流を何という？

1. 北赤道海流 2. 寒流 3. 対馬海流 4. 暖流

問2 地震の発生に伴って起こり、沿岸部に甚大な被害をもたらす巨大な波を何という？

1. 地殻変動 2. 隆起 3. 高潮 4. 津波

問3 フォッサマグナの西側の境界線として知られる、北から南へ走る線状の断層帯を何という？

1. 新発田小出構造線 2. 柏崎千葉構造線 3. 中央構造線 4. 糸魚川静岡構造線

問4 険しい地形の日本アルプスにおいて、かつて山頂付近を削り取ったとされるものは何という？

1. U字谷 2. 氷河 3. カール 4. モレーン

問5 フィリピン沖から日本列島の南岸に沿って北上する、流れが速い海流を何という？

1. 寒流 2. 千島海流 3. 暖流 4. リマン海流

問6 親潮のような寒流と、黒潮のような暖流がぶつかる海域のことを何という？

1. 大陸棚 2. 海溝 3. 堆積平野 4. 潮目

問7 沿岸部に津波が到達することを防ぐために築かれる、海からの波を食い止める壁状の構造物を何という？

1. 砂防ダム 2. 防潮堤 3. 水門 4. 防波堤

問8 夏に親潮の影響で沿岸に発生し、北海道の太平洋側で農作物の冷害の原因となる霧を何という？

1. 寒冷前線 2. 熱帯低気圧 3. 海霧 4. 梅雨前線

問9 北から流れる親潮と南から流れる黒潮がぶつかり、多くの魚が集まる豊かな漁場となる海域を何という？

1. 還流 2. 潮目 3. 湧昇流 4. 離岸流

問10 入り組んだ海岸線が特徴で、津波が押し寄せた際に波が集中し、被害が拡大しやすい地形を何という？

1. リアス海岸 2. 砂浜海岸 3. 扇状地 4. 三角州

問11 地球の表面を覆い、互いに押し合ったり沈み込んだりすることで地震の原因となる岩盤のことを何という？

1. 褶曲 2. プレート 3. 海溝 4. 断層

問12 海底で発生した地殻変動によって海面が急激に持ち上がり、沿岸に押し寄せる巨大な波を引き起こす自然現象の発生源を何という？

1. 地震 2. 土石流 3. 地滑り 4. 火山活動

問13 日本アルプスの山々が遮ることで、日本海側に大雪を降らせ、地域による気候の差を生み出す風を何という？

1. 海陸風 2. 季節風 3. フェーン 4. 貿易風

問14 地表を流れる水が地下に浸透しやすく、水はけのよい扇状地の土地を利用して作られる、農業形態を何という？

1. 畑 2. 果樹園 3. 茶畑 4. 水田

問15 入り組んだ海岸線が特徴のリアス海岸の穏やかな湾内で、カキやホタテなどを育てる産業を何という？

1. 養殖業 2. 遠洋漁業 3. 定置網漁 4. 底引き網漁

答え合わせ・解説

問1	答え 2 寒流	親潮のように、高緯度から低緯度へ向かって流れる海流を寒流と呼びます。寒流は水温が低だけでなく、酸素や栄養分が豊富に含まれているため、プランクトンが大量に発生し、魚が集まる豊かな漁場を作り出す特徴があります。
問2	答え 4 津波	津波は、海底で発生した地震によって地殻が大きく動き、それに伴って海面が押し上げられたり引き込まれたりすることで発生します。この波は時速数百キロメートルもの速さで広がり、海岸に到達すると高さが急激に増して陸地へ浸水します。通常の波と異なり、海全体が動くため非常に破壊力が大きいのが特徴です。
問3	答え 4 糸魚川静岡構造線	糸魚川静岡構造線（いといがわしずおかこうぞうせん）は、フォッサマグナの西側の境界線を指します。この線は新潟県の糸魚川市から静岡県まで伸びており、地質が大きく異なる地域を分かち境界線となっています。
問4	答え 2 氷河	氷河は長期間かけて山を削り取り、カールと呼ばれる円状の窪地や、鋭い尾根を作り出しました。日本アルプスで見られるこれらの地形は、当時の寒冷な気候環境を物語る貴重な遺産です。
問5	答え 3 暖流	黒潮は非常に勢いが強く、温かい水を運ぶ暖流の代表です。この暖流は、日本列島の南側に沿って北上しながら、周辺の気候や生態系に大きな影響を与えています。水温が高いため、多くの魚が回遊し、豊かな海を作り出しています。
問6	答え 4 潮目	この境界部分を潮目と呼びます。潮目では、北からの栄養分を豊富に含んだ水と、南からの暖かい水が混ざり合い、プランクトンが爆発的に発生します。これを求めて多くの魚が集まるため、非常に豊かな漁場が形成されます。
問7	答え 2 防潮堤	防潮堤は、海からの浸水を防ぐための壁状の構造物です。津波の勢いを弱め、到達する時間を遅らせる効果を期待して設置されます。近年では、より高い津波にも耐えられるよう、二重構造にしたり、防潮林と組み合わせたりする工夫も行われています。
問8	答え 3 海霧	冷たい海の上で冷やされた空気が霧となり、沿岸へ流れ込む現象を海霧と呼びます。この霧が長時間かかると、日照不足を引き起こし、北海道の太平洋側の農作物の成長を妨げ、冷害の原因となることがあります。
問9	答え 2 潮目	この2つの海流がぶつかり合う境界線の海域を潮目（しおめ）と呼びます。異なる海流が混ざり合うことで、プランクトンが大量に発生し、それを餌とする魚類が豊富に集まるため、世界でも有数の良好な漁場として知られています。
問10	答え 1 リアス海岸	海岸線が複雑に入り組んでおり、細長い湾が奥深くまで入り込んでいるのが特徴です。津波がこの狭い湾内に入ると、地形的な特性から波が狭い場所に押し込められ、波高が急激に上昇する「津波増幅現象」が起こります。そのため、同じ津波でも、外洋に面した平坦な海岸よりも、リアス海岸の奥地の方が深刻な被害を受ける傾向があります。
問11	答え 2 プレート	プレート同士がぶつかったり、一方の下へ沈み込んだりする境界部分では、大きな力が発生します。日本列島はこのプレートの境界が複雑に重なる場所にあり、沈み込むプレートに引きずられたり、跳ね返ったりする力が地震の主な原因となっています。この動きによって地殻のひずみが溜まり、活断層が形成されることもあります。
問12	答え 1 地震	海底で地震が起きると、海底面が急激に隆起したり沈降したりして海面を押し上げ、波となって周囲に広がります。これが津波です。津波は通常の波と異なり、波長が非常に長く、海底全体が動くため、沿岸に到達すると巨大な破壊力を持つようになります。
問13	答え 2 季節風	冬になると、大陸から吹いてくる寒く湿った季節風が日本アルプスの山々にぶつかり、日本海側で雪となって降り注ぎます。一方で、山を越えた太平洋側には乾燥した風が吹き込むため、冬の天候が非常に大きく異なります。
問14	答え 2 果樹園	この特性を利用して、日本では古くから傾斜地や扇状地で果樹栽培が盛んです。果物の中でも特に水はけの良い土壌を好む品種が、扇状地で質の高い収穫を上げています。
問15	答え 1 養殖業	この穏やかな環境と、山から栄養分が流れ込みやすい地形条件を生かし、カキ、ホタテ、ワカメなどの養殖業が盛んに行われています。また、水深が深く海水が循環しやすい場所も多いため、魚介類の育成に適しています。